

会 議 録

会議の名称	行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画 第6回策定委員会	
開催日時	平成3年3月12日（金） 開会：午後3時00分・閉会：午後4時30分	
開催場所	総合福祉会館2階 福祉団体活動支援室	
出席者（委員） 氏名	委員長：川島 治 副委員長：小林 定春 藤野 貴士、新井 秀隆、溝上 俊亮、山口 高広、小河原 勝 美、藤井 尚子、渡辺 国雄、金子 哲孝、小暮 福三、中村 洋 子、羽鳥 嗣郎、小峰 春男	
欠席者（委員） 氏名		
事務局	夏目健康福祉部長 柴崎高齢者福祉課長 横山地域包括ケア推進幹 堀口主幹 大澤主幹 加藤主査 春日（保健センター）、大崎（保険年金課）	
会議内容	(1)第8期行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(案) について (2)その他	
会議資料	(資料名・概要等) ・行田市高齢者いきいき安心元気プラン 第8期行田市高齢者保健 福祉計画・介護保険事業計画【案】	
その他必要 事項		
会議 録 の 定	確定年月日	主宰者記名押印
	令和 年 月 日	①

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>司会</p> <p>委員長</p>	<p>皆様こんにちは。定刻になりましたので、これより第6回行田市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定委員会を開会します。はじめに川島委員長よりご挨拶をいただき、その後の進行につきましても宜しくお願い致します。</p> <p>皆さんこんにちは。思い出すと、8月から長々と皆さん本当に真摯によくやってきました。この計画は市民の皆さまに共有しなければならないと思っておりますが、まだまだ市民の皆さまに重要性をしっかりと認識していただいていないと思っております。今後どうすれば市民の皆さまに伝わるのか、委員の皆さんの意見を伺いたいと思っております。これからはケアマネジャーや事業所の意見もいただき、地域共生社会に向けても考えていきたいと思っております。行政についても、4月から戦略的に進めたいという意思表示もありますので、この計画が実りあるものになるよう、安心して住み続けられる町となるようご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは会議の進行をはじめます。本日の会議は公開といたします。はじめに議題(1)第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、第8期行田市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(案)について説明をさせていただきます。事前配布した資料をご用意下さい。説明の中で修正、訂正等をさせていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>はじめに2ページをお願いします。計画の趣旨ですが、前回の策定委員会を踏まえて、中段の「また・・・」という文章を加えて修正を行いました。</p> <p>続きまして43ページをお願いします。①についてですが、今後の方向性の中の、「施設サービスだけでなく在宅介護も選択できるような支援が必要となります。」という文章について修正をさせていただきました。</p> <p>次に、53ページをお願いします。下から6行目に具体的な表記として、「地域ケア推進会議における多職種を交えたケアプランの検討や地域包括支援センターによる適切な介護予防支援を行うことにより保険給付の適正化を図ります。」を盛り込ませていただきました。</p> <p>次に、111ページをお願いします。ここからは認知症総合支援事業の関連となります。114ページの③認知症カフェについては、介護支援事業として記載していましたが、事業の整合性を図るため③認知症カフェとして記載させていただきました。併せまして、112ページの①、113ページの②はそれぞれ現状と課題、今後の方向性を新たな項目として記載させていただきました。</p> <p>まず、112ページの①認知症地域支援推進員の配置の現状と課題について、4行目以降を追加させていただきました。今後の方向</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委員長	<p>性について、推進員の配置につきましては、身近な相談拠点を整備するとともに、地域の実情に即した徘徊模範訓練等、地域を含めた認知症施策の更なる充実を図ります。また対象者の更なる掘り起こしを進め、認知症初期集中支援事業や認知症カフェ等の支援サービスに繋げていくこととして、新たに項目を設置させていただきます。</p> <p>次に113ページの②認知症初期集中支援事業について、現状と課題として、4行目以降を追加させていただきました。表を元に、今後の取り組みとして令和3年度、令和4年度、令和5年度を新たに追加させていただきました。今後の方向性についても追加をさせていただきました。</p> <p>次に114ページの④について、①から③の事業で現状と課題、今後の方向性の項目を設置しましたので、④の今後の方向性についても整理をさせていただきました。</p> <p>次に、132ページをお願いします。【感染症などへの対策】の冒頭に、この度の新型コロナウイルス感染症について、医療・介護・福祉業務に携わる皆様に対して感謝を申し上げる内容を追加させていただきました。</p> <p>次に、133ページをお願いします。前回の策定委員会までは、重点目標として14.9%以内として目標値を掲げていましたが、その目標設定についてご指摘をいただきましたので、事業名2.ご近所型介護予防事業の推進として新たに目標を設定させていただきました。全国的に展開されている「100歳体操」を推進する内容をなっております。</p> <p>ここで訂正をさせていただきます。事業名3.認知症ボランティアの養成と活動推進のページ数について、(114・120ページ)に訂正をお願いします。</p> <p>145ページから148ページの順番がずれていますが、正しくはページ通りとなりますので差し込みをお願いいたします。申し訳ございませんでした。</p> <p>次に、146ページの計画の進行管理について、アンケート調査で意見を求めることとして、6行目以降を追加いたしました。</p> <p>以上で修正箇所等の説明を終わらせていただきます。よろしくをお願いします。</p> <p>ありがとうございました。質問がありましたらお願いします。</p> <p>113ページの現状と課題の4行目から、実際に支援に結びつかないケースはどのようなのですか。どうしたらサービスに結びつくのかをどこかで記載するかはお任せしますが、市の方で包括への指導をしっかりといただき、困っているケアマネさんを助けていただきたいのと、この表現についても再度検討し、適切なサービスに繋がることを考えて記載していただければいいと思います。</p> <p>次に、133ページの事業名2.ご近所型介護予防事業の推進につ</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>いて、通いの場で介護予防事業をやるということですか。重なっている部分があるようですが。</p>
藤野委員	<p>重なっている部分があります。ご近所型介護予防事業を推進することにより、相乗して通いの場も増やしていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>ケアマネが困っていて中ぶらり状態となっておりますが、その方はずっとその状態なのでしょう。</p>
事務局	<p>認知症の方について、包括支援センターで初期集中支援事業に繋げず、対応が止まっているケースがあるという話がありました。地域包括支援センターは専門的な知識を持ち一所懸命頑張っております。認知症の方の対応につきましては、包括支援センターが対応すべき所と、認知症初期集中支援チームに引き継ぐ所があり、その部分の整理が中々上手く出来ていないという現実があります。包括支援センターの管理者の会議では、管理者に対して初期集中支援チームに引き継ぐべき事項について調整をはかりながら、どのような方をどのように初期集中に繋げるか、再度管理者に確認しながら整理しなければならないと考えています。初期集中支援チームには繋がってなくても、包括の対応の中で専門医の受診に繋げ、必要なサービスを導入するという対応は出来ていると認識しております。</p>
委員長	<p>包括が忙しすぎるので、地域づくりが出来るような本来の包括の働きが出来るよう考えていただきたいと思います。初期集中支援チームの勉強会に参加して、はじめていい仕組みがあることを理解すると思います。ケアマネ一人一人に伝えることは難しいと思いますが、連絡会議等でお伝えいただければと思います。</p>
溝上委員	<p>4ページの計画の位置付けについて、全体的に障がいの計画と連携して進めなければならないと思いますが、全体のとりまとめはどこがされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>上位計画は地域福祉計画となっておりますが、地域福祉計画の所管課は福祉課となっております。</p>
委員長	<p>部長さんがリーダーシップをとっていただきたいと思います。</p>
溝上委員	<p>計画期間がバラバラなので、担当課が全体的にまとめていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>完全に同一で進むのは難しいと思いますが、3年後、5年後の行田市のあるべき姿を見据えたトップリーダーがまとめていただきたいと思います。</p>
渡辺委員	<p>表紙について、今回はこのイラストだけですか。前は木のイラストが入っており、他の計画にも木のイラストが入っています。人だけではなく、環境も考えて花や木等の癒しのイラストがあるといいと思います。本日概要版が出来ると聞いていましたがどうなりましたか。我々市民の目に映るのは概要版しかないの、概要版についても説明いただきたいと思います。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>20 ページの図の字が小さいと思います。第 2 回の策定委員会の時は見やすかったので再度検討していただきたいです。</p> <p>54 ページの図については概要版にも入れていただきたいと思います。86 ページの図が横向きになっているので、出来れば縦向きにして、全体を揃えた方が見やすいと思います。</p> <p>91 ページの基本チェックリストの実績について、令和 3 年度から令和 5 年度の見込みがないのはなぜでしょうか。そもそもチェックリストの実施数が少ないと思います。どういうことをやっているのか、数が増えるようアピールが必要であり、広く市民に知らせていただきたいと思います。</p> <p>表紙については、花や木のイラストを検討したいと思います。</p> <p>概要版については、本日の計画（案）がかたまり、それを元に概要版を作成し、市民への全戸配布を予定しております。前回の概要版は、事業を羅列して全般的に文字が小さく見づらい部分がありましたので、今回は議論を踏まえて事業を羅列するというよりは、ポイントを絞って作成したいと考えております。20 ページの字の大きさについては、可能な限り大きく見やすくしたいと思います。</p> <p>54 ページの図については概要版に載せることを考えております。86 ページの図については見やすい形で検討します。</p> <p>91 ページの基本チェックリストについては、総合事業がはじまったのが平成 28 年度だったと思いますが、当初は該当者が多かったが、令和 2 年度については途中経過であり新型コロナウイルスの影響があると認識しております。チェックリストを受けた方で実際に総合事業対象者になる方については、通常何らかの生活上の不安があり相談される方がほとんどですので、その方々を対象にチェックリストを実施すれば何かしらの生活上の不安に引っかかると思います。基本的にチェックリストを受ける方の大多数が事業対象者になると認識しております。</p>
委員長	<p>市として、評価に対してどのような結果が出たかを説明出来るようにしていただきたいと思います。</p>
渡辺委員	<p>令和 3 年度から令和 5 年度の実施者数の想定は難しいということですか。</p>
事務局	<p>87 ページに介護サービスを受けるまでの流れを記載しておりますが、要介護認定、要支援認定を受けられない方に基本チェックリストを受けていただき、要支援と同じ様な介護サービスを受けることが出来るという仕組みとなっています。介護サービスを受けるまでのプロセスの中で基本チェックリストがあるので、目標として基本チェックリストを掲げることが難しいところがあります。要介護や要支援の認定は受けられないが、チェックリストを実施した結果、支援やサービスを受けられるようにするための最終的な手段としてご理解をいただきたいと思います。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
委員長 事務局 渡辺委員	<p>目標を立てるには馴染まないという考え方ですね。          そのようにご理解いただきたいと思います。          来なければ実施しないという受け身の印象があります。こぼれた人を拾い上げ、意見を拾いやすくするような対策が必要だと思          います。</p>
委員長 事務局	<p>市民対してのアウトリーチをご検討いただきたいと思います。          アウトリーチが重要だと考えておりますので、福祉の相談窓口          の存在、相談しやすい環境づくり、包括についても市民の方に知          っていただけよう努力し、最終的にサービスに繋げていきたい          と考えております。</p>
委員長 渡辺委員	<p>窓口処理ではなく、仕組みを考えたらどうかというご意見だと思          うので、前向きに検討していただきたいと思います。          92 ページの a) 楽しく長生き講座について、実施回数が少ない          ように思います。これについても、令和3年度から令和5年度ま          での想定がないので、目標を立てるには馴染まないということ          でしょうか。          次に、129 ページの今後の方向性について、「介護給付費等費用          適正化事業」なので、介護給付費の「費」は削除していただき          たいと思います。</p>
事務局	<p>133 ページの事業名 3. 認知症ボランティアの養成と活動推進に          ついて、こちらは本文に記載がありますか。なければぜひ載せて          いただきたいと思います。          a) 楽しく長生き講座の回数について、各地域公民館で年2回          の開催が実情であります。公民館の中でも様々な講座があり、介          護予防等の件数が少なくなっている状況がありますので、公民館          だけでなく、他のサロンにも周知をしていきたいと考えておりま          す。第8期の目標値については今後検討したいと思          います。          次に、認知症ボランティアの養成については、本文に記載はご          ざいませぬ。大変重要なものなので、認知症ボランティア養成の          施策についても、本文で紹介を掲載したいと思          います。          129 ページの介護給付費の文言については訂正いたします。</p>
溝上委員	<p>91 ページの基本チェックリストについて、新規の方に結びつか          ない実態があります。全体的に新しいサービスが利用されないこ          とが多く、ケアマネ自身使い方がわからないということもありま          す。使い方についても周知が必要だと思          います。</p>
委員長 溝上委員	<p>ケアマネ会議について何かありますか。          事業所ごとにサービスの紹介はしていますが、上手く伝わらな          い実態があります。適正なサービスを適正な方に提供し紹介する          のがケアマネの仕事だと思うので、地域ケア会議等でご指導いた          だければと思          います。</p>
小林委員 委員長	<p>132 ページの感謝の言葉は必要でしょうか。          他市町村でも盛り込んでいるところが多いようですが、感染症</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
小林委員 事務局	<p>のところにこの文言を入れることが適切かどうかということだと思えます。</p> <p>市長のあいさつであればいいと思いますが。</p> <p>計画冒頭の市長の言葉としてそのような文言が記載されているので、御了承いただけるのであれば削除させていただくことは可能です。</p>
委員長	<p>ご意見ありますか。ないようですので削除の方向でいいと思えます。</p>
事務局 新井委員	<p>削除させていただきます。</p> <p>100ページの地域包括支援センターが1つ増えた経緯と、増えた事による市民へのメリット、働き手についても教えていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>5箇所を増設した経緯として、地域包括支援センターにつきましては市の条例の中で、一つの包括の担当地区で概ね3,000人から6,000人以下という形になっております。</p> <p>行田市の高齢者人口が25,000人程なので、単純に4で割ると6,000人を超えている状況であります。地域包括支援センター壮行会の皆さんは6,600人程いたと思えます。第7期計画の中で条例の限を超えているということで、1箇所増設して条例の基準の範囲内としました。現在は1箇所平均5,000人となり、条例の基準の中で対応させていただいております。増えたメリットとしては、1包括当たりの担当の高齢者人口が減るので、どこまで包括の職員の中で実感としてあるかは別として、単純に担当する地区の高齢者数が減り、それだけ目が行き届く、細かい対応に近づくのではないかと考えております。包括の職員については、担当する地区のエリアが狭くなれば、それだけ地域性を考えることも若干減ってくると思われれます。行政が行うものなので、条例の基準の中で適正に対応すべきであると考えております。</p>
新井委員	<p>今後高齢者は増えますが、いずれ減ってきたらまた減るということでしょうか。</p>
事務局 委員長	<p>まだ減ることはありません。</p> <p>2040年を想定して色々な計画を立てるということですね。他にご意見はありますか。</p>
渡辺委員	<p>概要版について、字を大きくして、市民が分かりやすい、馴染みやすい作り方をしてほしいと思えます。7ページに被保険者の介護保険料の記載がありますが、月額と年額を併記していただきたいです。細かい事業内容よりも、地域包括支援センター等の相談先を記載していただきたいです。字はあまり読まないのので、なるべくイラストを使用した方がいいのではないのでしょうか。介護保険についての冊子があるということも明記していただきたいと思えます。</p>
溝上委員	<p>概要版の構成として、なぜこの計画を立てるのか、策定しない</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
金子委員	<p>といけないからではなく、行田市の問題を伝えた上で、そのためにこの計画を立てたという構成にすれば、市民の方も意識をして何をすればいいのかが見えてくると思います。重点事業と目標値、具体的な内容はおさえているので、文言については、「努めます」や「図ります」ではなく、「します」とした方がいいと思います。出来れば市民がわくわくするような内容にしていただければと思います。</p>
委員長	<p>特に上位目標に対しては数値目標だけで判断出来ないのので、この計画はここだったらダメだ、という評価をします。ただ、概念や構想は非常に良いと思います。これを市民に理解させて行動させることが、この計画を実現させるための市が唯一取り組むべきことだと思います。市民一人一人がこれを理解して実行すればこの計画は成り立つので、指導力を持って問題だけを一生懸命理解させていただきたいです。自助で頑張るといって人が一人でも多くいれば、この計画は成功すると思います。そこだけを一生懸命やってほしいと思います。</p>
中村委員	<p>市民一人一人が意識を高く持っていただけるようにしていただきたいと思います。</p>
委員長 事務局 委員長 事務局	<p>市長のあいさつについて、14行目の「・・・取組に力を注いで・・・」となっておりますが、「注いで」に訂正をお願いします。</p> <p>次に、41ページの①ふれあい見守り活動の推進について、「支えあいマップ」の作成を自治会で行い、「地域支援ネットワーク会議」を開催し、106ページの地域包括支援センターが主催する「地域ケア個別会議」に繋がる、という認識でよろしいでしょうか。民生委員を務めていましたが、何かの会議の要請があればそこに出席するというばかりで、自分がどの位置、立場でやっているのかという認識が全くありませんでした。「支えあいマップ」の作成は自治会で行っていますが、自分が民生委員をやった経験で、自治会長や地元の方の方が詳しい情報を持っています。自治会長と民生委員で防災会議に出席しますが、そこでも防災マップを作ります。一つ一つの会議の繋がり、横の繋がり連携してやっていただきたいと思います。</p>
委員長 事務局 委員長 事務局	<p>防災はどこが主管しているのですか。 防災安全課が主管となっております。 ぜひマップを作成していただきたいと思います。 趣旨が同じようなものがあれば作る必要はないと思いますし、一つにまとめることでわかりづらくなることも考えられますので、合理的に効率的に幅広く支援出来るマップを作成した方がいいと思いますので、主管課に伝えたいと思います。</p>
委員長 事務局	<p>評価、検証はどうなっていますか。 秋をめどに評価、重点目標4事業の進捗状況の確認していただきたいと現時点では考えております。</p>



発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
溝上委員 事務局	<p>評価のメンバーはどうなりますか。</p> <p>要綱上では、委員の中から10名以内で指名するとなっておりますので、どのような形にするかは今後協議をさせていただきます。</p>
委員長 事務局	<p>他にご意見がなければ、この計画は決定とさせていただきます。</p> <p>その他に入る前に、いただいたご意見の中で反映出来るものについては反映いたします。一方で、今後委員会の開催予定はありません。計画自体も年度内に作成し、概要版及び計画自体の配布等は4月か5月になると思われれます。今回の意見を踏まえて、市の修正についてはご一任いただいて、そのような対応をさせていただきますのですがよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>一任というよりは、皆さんの意見がちゃんと通っていただかないと評価は出来ません。責任を持って市民の心に届くように作っていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>議題（2）その他についてお願いします。</p>
事務局	<p>計画書につきましては、360部程作成を予定しております。主な配布先としては、市の担当部局、委員の皆さま、民生委員さん、各地区の自治会長、関係者、公民館等に配布をする予定であります。概要版につきましては全戸配布をいたします。</p>
事務局	<p>最後に夏目健康福祉部長から皆さまにご挨拶をさせていただきますと思います。</p>
健康福祉部長	<p>委員の皆さま方には、これまで大変市にそれぞれの立場から貴重なご意見や提言をいただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>4月以降の3年間について、市の高齢者福祉施策の羅針盤となるこの計画に基づき、各種事業を推進してまいりたいと考えております。引き続き皆さま方には、市政に対してましてご理解、ご協力を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。</p>
委員長	<p>コロナ禍で大変な時期が続いておりますが、皆さま方には今後益々のご健勝ならびにご活躍を心よりお祈り申し上げ、お礼の挨拶とさせていただきます。長い間ありがとうございました。</p>
委員長	<p>これで策定委員会を閉会いたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p>

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）

